

【 1 款 議会費 】

地域住民の代表機関として、地方自治体の最終意思決定機関である地方議会の役割は大幅に増大しており、組織の自己決定権を尊重し、議会の活性化及び公開を図りつつ、住民に理解が得られる議会運営が求められている。

こうした状況の中で、議会の審議能力の向上はもちろんのこと、地方議会の充実強化あるいは議員個々の政策形成能力の高揚に努めた。特に市民の悲願でもある西九州自動車道の早期建設に向け積極的な取り組みを行い、進展がみられた。また、厳しい本市の財政状況の下、議会としても、今後整備が必要となる重要施設について調査研究を行うために、重要施設整備検討特別委員会を設置し、重要施設整備に係る審査を行った。

このような、議会の活動内容を市民に広く知らせるために、議会中継システムや会議録検索システム、そして議会だよりを活用し、開かれた議会の構築に向けて努力を重ねた。

(1) 議員研修

各常任委員会では、先進都市のすぐれた施策等を見聞し、市勢浮揚の一助となるよう所管事務調査等を実施した。

- ・総務委員会 …… 消防行政及び防災時の備えについて
(山梨県南アルプス市、新潟県柏崎市)
- ・産業建設委員会 …… 備前市における五味の市及び下関市における唐戸市場の活用について
(岡山県備前市、山口県下関市)
- ・文教厚生委員会 …… 地域医療連携及び病院事業並びに廃校施設の利活用(福祉施設)について
(広島県尾道市、神石高原町)
- ・議会運営委員会 …… 議会運営及び議会条例・規則・規程について
(大阪府豊中市、大東市)

事業名	事業内容	事業費
議会中継システム 管理事業 (議会事務局) 【事項別明細書 84 頁】	開かれた議会と議会傍聴ができない市民等の利便性向上のため、インターネットによる本会議の生中継、録画中継を行った。	1,659
議会会議録作成経費 (議会事務局) 【事項別明細書 84 頁】	議会内容の記録・保存のため会議録を作成するとともに、ホームページへの掲載を行った。また、議会に関する情報を広く市民に周知するため「市議会だより」を発行した。 ・会議録 2,105 千円 発行回数：年 4 回 発行部数：54 部 ・市議会だより 727 千円 発行回数：定例号 年 4 回 (5 月、8 月、11 月、2 月) 臨時号 年 1 回 (12 月) 発行部数：14,000 部	2,832

(2) 特別委員会

【議会広報特別委員会】

市議会だより「とかいせん」は、定例号 4 回及び臨時号 1 回を発行した。各号発行(臨時号を除く)に際し委員会を 3 回開催し、市民に議会の様子がよりわかりやすく伝わるよう記事・レイアウト等の校正に努めた。

シリーズ「ふるさと宝さがし」では、各地区の行事や歴史を委員が取材し、地域の魅力を発信することで、互いの地区の理解を深め、市民がより身近になることを期待している。

【西九州自動車道整備促進特別委員会】

平成 23 年度も引き続き、伊万里道路、伊万里松浦道路の事業推進及び松浦市から佐々町間の早期事業化に向け、佐賀、長崎河川国道事務所、九州地方整備局、民主党本部、地元選出国会議員等に対し、事業促進に向けて要望活動を行った。

特に中央要望活動は、民間団体と初めて活動を実施したことにより市民の関心がより高まったものと思われる。そうした中で、松浦・佐々間約 19 キロメートルが事業の前提となる環境影響評価の手續きに着手されたことから、一定の要望活動の成果はあったものと思料する。

【重要施設整備検討特別委員会】

重要施設の整備に関する調査研究のために、9 月定例会において設置し、5 回の委員会を開催した。平戸市総合計画実施計画に計上している事業及び合併特例債を活用する事業に財政計画等までを加えた審査を行い、11 月臨時会において中間報告を行った。

(3) 市議会会議録検索システム

会議録検索システムの活用により、インターネット、庁内のネットワークを通して市民や理事者等が本会議の内容を知ることができるなど、情報化時代に即応した事業の展開が図られた。

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,659	いつでも視聴できる環境を提供することで、市民が議会に対し関心を持つ機会を増やせた。 アクセス件数 生中継 1,635 件 録画中継 1,696 件
			2,832	会議録発行と併せて、インターネットによる検索システムにより、いつでも誰でも迅速に、容易に会議録の閲覧ができるようになり、また、市議会だよりを通じて、より身近な議会活動情報を提供し、市民に対し市政への関心を醸成することができた。